

2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	ライフスタイルと教育小委員会	主 査 名：高橋 達 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境委員会	委員長名：外岡 豊 主 査 名：
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2015 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	2013 年度 建築の環境負荷低減を実現するための教育方法と実践事例を収集・体系化する。成果を学校教育や建築教育、生涯教育などにおける講師派遣や企画協力により広く教育現場に還元する。 2014 年度 住育の情報交換・講習のためのセミナーを開催する。	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有り 齊藤雅也 (札幌市立大学)、篠節子 (篠計画工房)、宿谷昌則 (東京都市大学)、菅原正則 (宮城教育大学)、妹尾理子 (香川大学)、高柳有希 (㈱エコエナジーラボ)、田中稲子 (横浜国立大学)、谷口新 (大妻女子大学)、西川竜二 (秋田大学)、平石年弘 (明石工業高等専門学校)、廣瀬和徳 (㈱教育環境研究所)、村田昌樹 (OM ソーラー)、吉野泰子 (日本大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2013 年度予算	70,000 円	ホームページ公開の有無：無し 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 各委員が協力関係にある教育現場において住育の実践と成果の社会還元を行っている。 2. 学習前後における環境調整行動の定量的評価法 (ロジスティック回帰分析による行動の確率分布把握など) を試行しており、教育メソッドの体系化に必要な教育効果の評価法が見出されつつある。
委員会活動の問題点・課題	1. 他団体 (子ども教育支援建築会議運営委員会など) との連携の可能性が高い環境になりつつあるが、地球環境配慮型住育実践のための専門家派遣体制につながる基礎がまだ確立には至っていない。